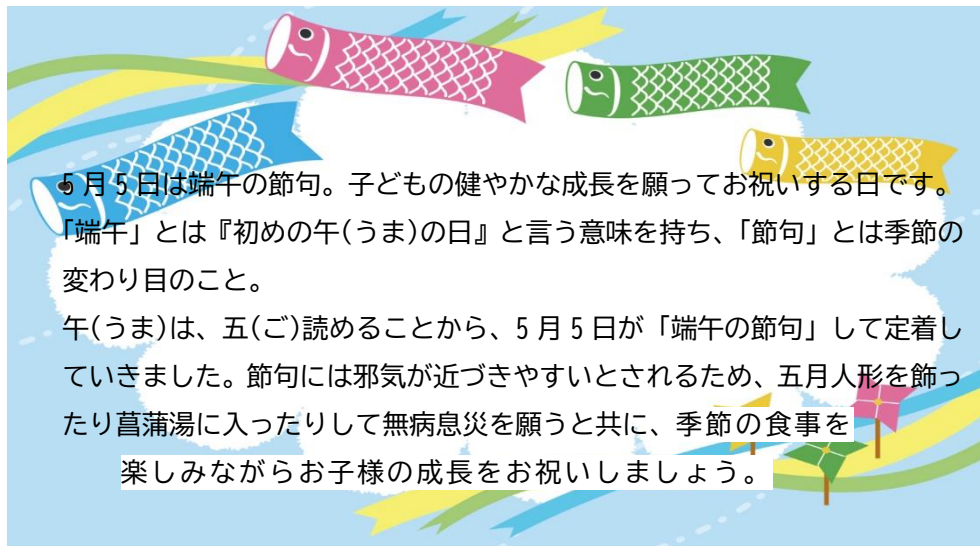




プリスクレールディゾアンジェ安行藤八 2025年 5月号



5月5日は端午の節句。子どもの健やかな成長を願ってお祝いする日です。「端午」とは『初めの午(うま)の日』と言う意味を持ち、「節句」とは季節の変わり目のこと。

午(うま)は、五(ご)読めることから、5月5日が「端午の節句」して定着していきました。節句には邪気が近づきやすいとされるため、五月人形を飾ったり菖蒲湯に入ったりして無病息災を願うと共に、季節の食事を楽しみながらお子様の成長をお祝いしましょう。

端午の節句の食べ物

ちまき

邪気を祓い、病気や厄を避けるという意味があります。

『竹のようにまっすぐ元気に育って欲しい』という願いを込めて、筍入りのちまきを食べるのも良いでしょう。

柏餅

新芽が出るまで古い葉が落ちない特徴から「家系が途絶えない」様子を連想させ、『家系の継続』や『子孫繁栄』といった意味が込められています。

鯉や出世魚

“勝男”を連想させる鯉、スズキやブリといった出世魚も成長すると呼び名が変わることから、成長し、社会で活躍できるようにとげんを担いでいます。



行事食

*5月2日*こどもの日

給食：ご飯・こいのぼりのハンバーグ・春キャベツのおかか和え
花麩のすまし汁・いちご

おやつ：中華おこわおにぎり



5月の食育活動報告

*どんぐり・つくし・たんぼぼ・もみじ・さくら・けやきぐみ:給食室見学

給食室を身近に感じてもらう為見学に来てもらい、家庭では見ないような大きさの調理器具や調味料のボトルに自由に触れてもらいました。

どんぐり・つくしぐみさんはお玉やボールを楽器のようにたたいて音を鳴らして楽しんでいました。

たんぼぼ・もみじぐみさんになると「これは何に使うの?」と疑問を持ってくれたり、「使ったことあるよ!」と言って何に使ったのかお話してくれました。

さくら・けやきぐみさんは「いいにおい!!」と言っていたり、大きな炊飯器や大きな鍋に入ったお味噌汁を見て「全部食べる~!!」と言って様々な感想を言っていて給食室を楽しんでくれているようでした!

この機会にまた給食室に気軽に遊びに来てくれたらうれしいです!

楽しい食卓を心がけて

子どもの食が進まないとイライラしてしまいがちですが、楽しい食卓にするには、まず大人が食事を楽しむことが大切です。子育てや仕事をしながら毎食きっちりとして食べようとすると、とても慌ただしくなります。ときには料理の手を抜くことがあってもかまいません。食べることをゆったりと楽しめる時間づくりを心がけましょう。